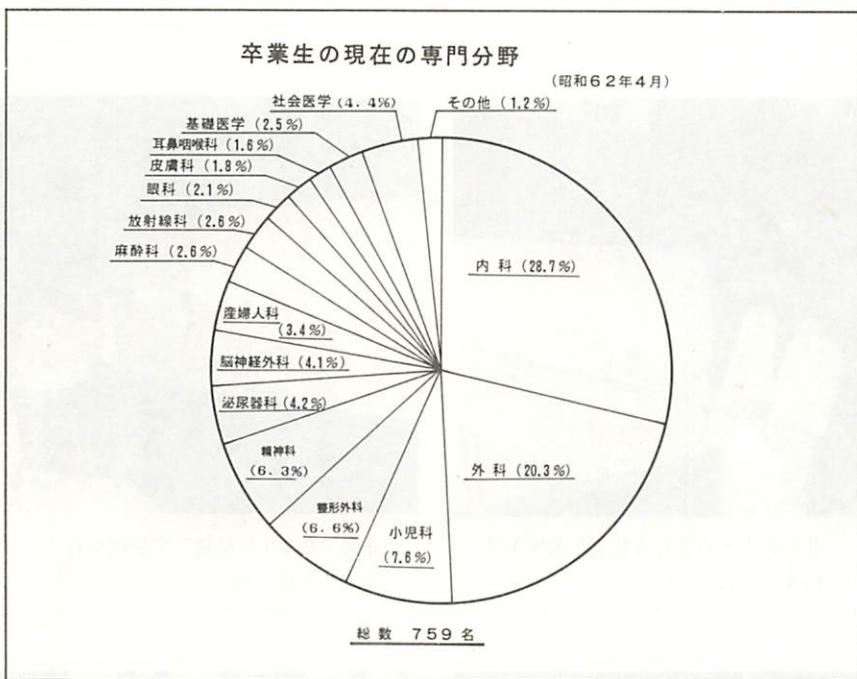




桐医会会報

1987. 12. 22 No. 21

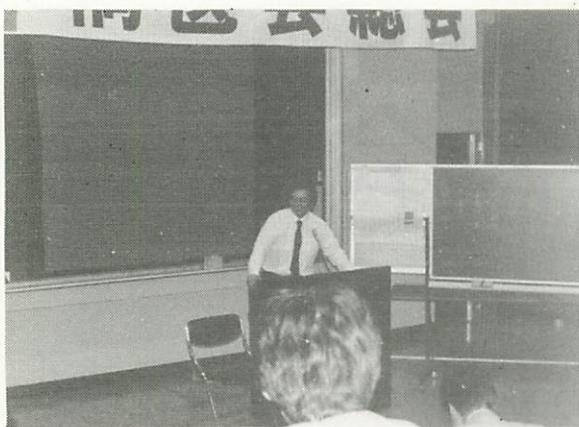
卒業生の軌跡



筑波大学医学専門学群は8回生までを世に送り出した。第7回桐医会総会ではシンポジウムで「卒業生の軌跡」を分析した。上の図は全卒業生の専門分野の集計の結果である。その他、卒業生の歩んだ足跡の詳細を本誌で報告する。

主な内容

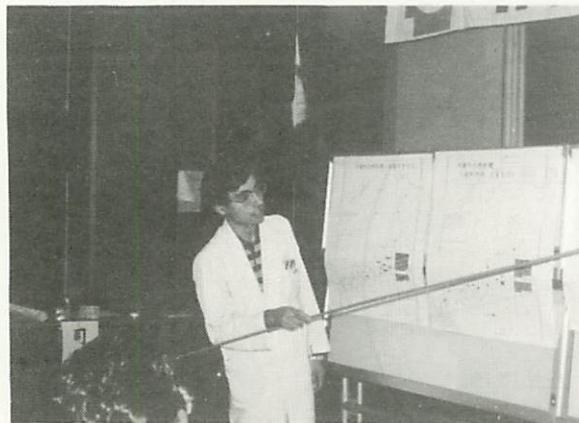
・ 第7回桐医会総会	14
第1部（決議及び承認事項）	3
第2部 シンポジウム“卒業生の軌跡”	5
・ 桐医会東京部会開かる！	10
・ 「つくばねっと」を知っていますか？	11
・ リクルートに関するアンケートの結果報告	12
・ 62年度東医体結果報告	14
・ キャンパス・スケッチ	15
・ スマイリング・マラウイ — part 3	16
・ 1987年度版桐医会名簿の訂正	18
・ 人事異動	20
・ 広報部より	20



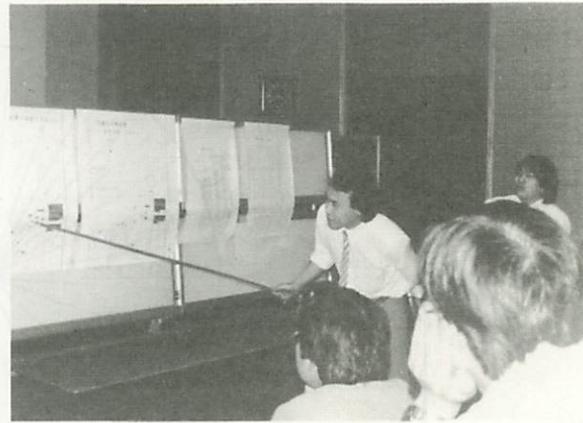
山口高史会長健在なり！



開会前に談笑する湯沢・厚美両氏



II部のまとめを行う総責任者厚美氏
白衣がそれらしい？



II部“卒業生の軌跡”で説明を行う
鶴下学生役員長



総会ご出席の会員各氏



若き学生役員 品川、松崎君
“任せなさい”

第7回桐医会総会報告

第1部 (決議及び承認事項)

司会 湯沢賢治（3回生）

昭和62年度、第7回桐医会総会における議事の内容は次の通りである。

(1) 昭和61年度事業報告

副会長海老原次男氏（2回生）より表1に示すような報告があった。

(2) 昭和61年度決算報告

会計岩崎まり子氏（1回生）より表2に示すような報告があった。会計監査は長谷川鎮雄教授によってなされた旨報告された。

(3) 会則変更について

役員会で議決された会則変更について、次のことが司会者より説明された。

第5条「名誉会員」の項

現 行：筑波大学医学系教官を定年退職した者

改正案：筑波大学医学系教授を退官した者または総会において承認された者

理 由：現行では医学系教授が学長、副学長になられた場合や他大学に転出された場合に名誉会員に成り得ないため

第6条「会計」の項

現 行：3名

改正案：4名

理 由：会計業務の増加のため

以上は、総会出席正会員の過半数の承認を得て、承認された。

(4) 役員選出

昨年度役員会で提案された新役員候補が司会者より発表され、他に立候補・推薦なく、そのまま承認された。新役員を表3に示す。また、会計監査は昨年度に引き続き長谷川鎮雄教授にお願いすることとなった。

(5) 昭和62年度事業計画

副会長海老原次男氏（2回生）より表4に示すような事業計画が発表され、承認を受けた。

(6) 昭和62年度予算

会計岩崎まり子氏（1回生）より表5に示すような予算が発表され、承認を受けた。

表1 昭和61年度事業報告

昭和61年 4月	桐医会会報第15号発行
5月	第1回定期役員会
5月24日	第2回定期役員会
	第6回桐医会総会開催
6月	古本市
	第3回定期役員会
	桐医会会報第16号発行
	「7回生より後輩諸君へ」発行
7月	第4回定期役員会
9月	昭和61年度版桐医会名簿発行
	第5回定期役員会
10月	第6回定期役員会
	基臨社祭（古本市援助）
11月	第7回定期役員会
	桐医会会報第17号発行
12月	第8回定期役員会
昭和62年 1月	第9回定期役員会
2月	桐医会会報第18号発行
	第10回定期役員会
3月	第11回定期役員会
3月25日	第8回生桐医会加入（88名）

表2 昭和61年度桐医会決算報告

収 入

	予 算	決 算
前 年 度 繰 越 金	21,726	21,726
支 部 会 費	2,100,000	1,338,000
賛 助 会 費	300,000	309,000
広 告 代	1,200,000	1,043,000
名 簿 売 り 上 げ	250,000	227,600
古 本 市 売 り 上 げ	30,000	89,910
雑 収 入	0	62,000
預 金 利 子	10,000	104
合 計	3,011,726	3,091,340

支出

	予 算	決 算
総会費	200,000	257,480
事務局運営費	120,000	96,370
広報発行費	1,000,000	855,200
名簿発行費	1,000,000	1,068,000
通信費	500,000	515,490
消耗品費	70,000	27,320
備品購入費	500,000	134,467
事務費	80,000	52,970
書籍購入費	40,000	15,000
涉外費	80,000	0
慶弔費	10,000	0
積立金	300,000	0
予備費	11,726	0
繰越金	0	63,046
合 計	3,011,726	3,091,340

表3 昭和62年度 桐医会役員

会長	山口 高史 (1回)
副会長	鴨田 知博 (1回) 海老原次男 (2回)
評議委員	岩崎 秀生 (1回) 小林 正貴 (1回)
	家城 恵子 (1回) 白石裕比湖 (1回)
	亀崎 高夫 (2回) 富 俊明 (2回)
	中山 健児 (2回) 山本 雅一 (2回)
	厚美 直孝 (3回) 江口 清 (3回)
	島倉 秀也 (3回) 寺田 康 (3回)
	湯沢 賢治 (3回) 湯原 孝典 (3回)
	塚田 博 (4回) 増田 義重 (4回)
	中島光太郎 (4回) 平野 洋子 (4回)
	村井 正 (4回) 吉沢 利弘 (4回)
	石川 敏子 (5回) 佐藤 真一 (5回)
	鈴木 敏之 (5回) 妹尾 栄一 (5回)
	竹村 博之 (5回) 内藤 至子 (5回)
	伊東 優 (6回) 木山 昌彦 (6回)
	佐藤 祐二 (6回) 本間 覚 (6回)
	柳沢 正史 (6回) 朝倉由加利 (7回)
	緒方 篤 (7回) 田宮菜奈子 (7回)
	中野 佳子 (7回) 谷中 清之 (7回)
	堀 孝文 (7回) 佐藤 直昭 (8回)
	柴田 智行 (8回) 白岩 浩志 (8回)
	杉田 和子 (8回) 鈴木 雅美 (8回)
	高見 順子 (8回)
会計	岩崎まり子 (1回) 宮川 創平 (3回)
	江原 孝郎 (4回) 細井美恵子 (7回)
会計監査	長谷川鎮雄 (賛助)

表4 昭和62年度事業計画

昭和62年 5月	桐医会会報第19号発行
6月	「8回生より後輩諸君へ」発行
9月	桐医会会報第20号発行
	昭和62年度版桐医会名簿発行
10月	基臨社祭(展示参加, 古本市援助) 第7回桐医会総会開催
11月	桐医会会報第21号発行
昭和63年 2月	桐医会会報第22号発行

表5 62年度桐医会予算案

収入	予 算
前年度繰越金	69,043
支部会費	2,400,000
賛助会費	300,000
広告代	1,100,000
名簿売り上げ	250,000
古本市売り上げ	50,000
雑収入	0
預金利子	10,000
合 計	4,179,043

支出

支出	予 算
総会費	300,000
事務局運営費	100,000
広報発行費	1,000,000
名簿発行費	1,200,000
通信費	600,000
消耗品費	50,000
備品購入費	400,000
事務費	80,000
書籍購入費	40,000
涉外費	80,000
慶弔費	20,000
積立費	300,000
予備費	9,043
繰越金	0
合 計	4,179,043

以上の通り相違ありません。

昭和62年 3月31日

桐医会会长 山口 高史
 会計 岩崎 まり子
 会計監査 長谷川 鎮雄

卒業生の軌跡

総会企画委員会代表

厚美 直孝（3回生）

湯沢 賢治（3回生）

島倉 秀也（3回生）

筑波大学医学専門学群は、本年3月に8回生を送り出し、同窓生の数は700人を越えました。桐医会では第7回総会で、シンポジウム「卒業生の軌跡」を開催し、各方面で活躍中の卒業生の分析を試みました。従来の医局・講座制を廃止し、新しいシステムで出発した筑波大学ですが、その成果はどのように実って行くのでしょうか。これは、私達同窓生の最も関心の高いところだと思います。今回をこの企画の第1回とし、更に発展させる予定でありますので、皆さんと一緒に考える資料として頂けたら幸いと思い、ここに結果をご報告致します。この集計作業の大部分は明記した学生諸君によってなされました、不明な点はわれわれ代表が判断し、また、この報告のすべての責任はわれわれ代表にあることを付け加えます。

卒業生の所在地と茨城県医師数の推移

鶴下 昌晴（10回生）

まず、卒業生の現在の全国分布の状況を考えてみる。現在の所在地については1987年度版桐医会会員名簿を参考とし、正会員全員つまり男女合わせたもの（図1）と、

女子のみ（図2）とのそれぞれについて集計、作図した。

次に、昭和51年から59年までの茨城県の医師数の推移を追ってみた。ここでは「国民衛生の動向」各年度版を参考に、茨城県の医師数、人口10万人あたりの医師数を全国と茨城県とで比較してみた（図3）。

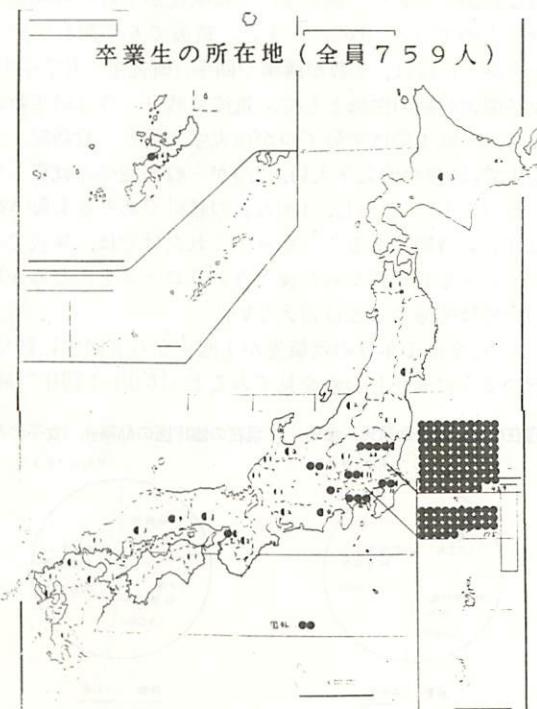


図 1



図 2

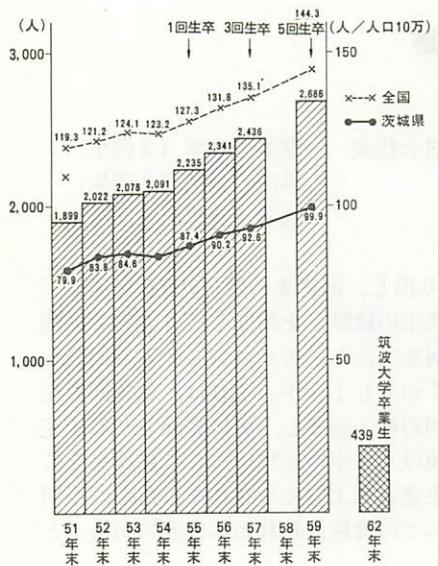


図 3

I-①. 卒業生の所在地—正会員全員について—

筑波大学医学専門学群の卒業生は8回生までで759人となっている。このうち89%にあたる675人が関東地方1都6県に集中している。中でも茨城県は全体の58%にあたる439人を占め、次いで東京都は全体の23%にあたる175人を占めていることが注目される。

また、現地の所卒業生が1人もいない県は、岩手県、秋田県、山形県、滋賀県、奈良県、三重県、和歌山県、島根県、鳥取県、香川県、愛媛県、高知県、熊本県、宮崎県の14県であり、このことからも卒業生はそれほど全国各地に散らばっているわけではないことがうかがえる。

I-②. 卒業生の所在地—女子のみについて—

卒業生759人のうち女子は141人を占めている。このうち53%にあたる75人が茨城県に、31%にあたる44人が東京都にいる。また、卒業生のいない県は32県を数え、女子のみを見ても、茨城県、東京都への集中が目立つ。

II. 茨城県医師数の推移

1回生の卒業は昭和55年であり、その前と後とで茨城県の医師の実数と人口10万人あたりの医師数を比較してみると、昭和55年以降の方が明らかに増加率が大きくなっている。昭和54年から59年までに実数にして595人の増加があり、年平均約120人の増加傾向を示している。この120人の増加のうち、卒業生の占める割合は約半分程度だと思われるが、この卒業生の安定供給が新たな需要を生み、それによる他県からの医師が、残りの増加分にあたるのではないだろうか。

また、医師過剰が叫ばれるようになって久しいが、茨

城県に限ってみれば、昭和59年の人口10万人あたりの医師数は約100人で、全国の昭和51年のレベルにも達していない。まだしばらくの間は、茨城県では医師過剰に心配せずにすみそうである。

また卒業生のほとんどがレジデントコースにいる現在の所、卒業生は茨城県と東京都に集中しており、特に茨城県の医師数の増加分の多くを卒業生で占めているといえる。あと数年すると、レジデントコースを終了した卒業生の方が多くなるが、その時にも現在と同じような傾向を示すのか、それとも全国に散らばるようになるのか、再び調べてみたい。

臨床医の勤務先の動向

有園 さおり (10回生)

卒業生のうち、臨床系に進まれた方々が、どのような進路をたどっていらっしゃるのかを追ってみた。勤務先を筑波大学付属病院、他大学付属病院、一般病院の3つに分け、卒後1年目の就職先と現在の勤務先とを比較検討したものである。

まず、現在の勤務先（図4）を見てみると、全卒業生のほぼ半数が本学付属病院に、残り50%のうち半数ずつが、他大学付属病院と一般病院に勤務されていることがわかる。このうち、6年間のレジデントと終えられた1、2回生についてのみ見てみると、本学に残っておられるのは約20%であり、他大学、一般病院がそれぞれ40%ずつを占めている（図5）。また、筑波で6年間レジデントを終えた後は、半数が講師や助手、研究生、大学院生、及び関連病院の医師として、筑波に残り、残りの半数のうち、1回生では半数ずつが他大学入局と一般病院、2回生では1/3が他大学入局、2/3が一般病院へと就職している（表1）。しかし、100人弱の統計であり最も動きのはげしい時期であることから、これだけでは、筑波でレジデントを6年間やった後どういうコースをたどるかについては明確なことは言えない。

一方、卒後1年目の就職先が1回生から8回生に到り、どのように変化したかを見てみると（図6）1回生以降、

現在の臨床医の勤務先（全体） 現在の臨床医の勤務先（女子のみ）

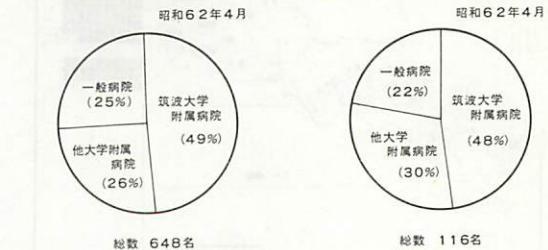


図 4

現在の臨床医の勤務先

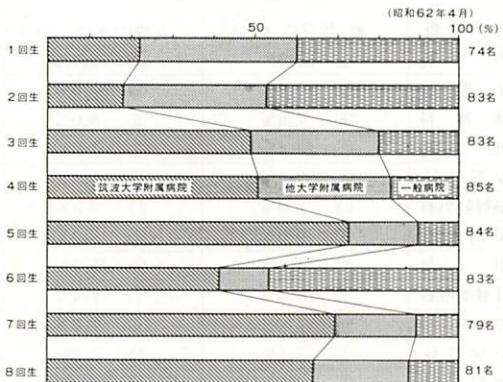


図 5

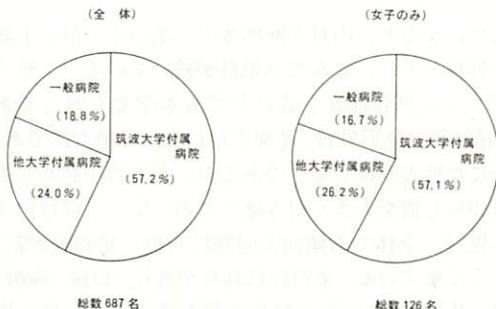


図 6

表 1

回生	一年目	現在	回生	一年目
本学	45%	→ 22% (-23)	本学	45% → 18% (-27)
他大学	26%	→ 38% (+12)	他大学	28% → 35% (+7)
一般	29%	→ 40% (+11)	一般	27% → 47% (+20)

本学付属病院に残る数は年々増加しており、1、2回生では45%であったものが、5回生以後はほぼ70%に達し、来年卒業予定の9回生では80%を超える見込みである。

(6回生では本学レジデントの数は50%と増加傾向からはずれているが理由不明)

学外に出られた方の進路を見てみると、1、2回生では他大学：一般病院がほぼ1:1であったものが、年々他大学に入局する人の数が増え、現在ではほぼ2:1の割合にまでなっており、大学志向がうかがわれる。

さらに、1年目から一般病院に出た人の足跡をたどってみると、119名のうち、勤務先を変えた人は67人、56.3%に上り、そのほとんどは大学付属病院への転向であり、卒後3年目、5年目に大学の医局へ入る人が多い。

この結果からも、大学志向の強さがうきほりにされている。

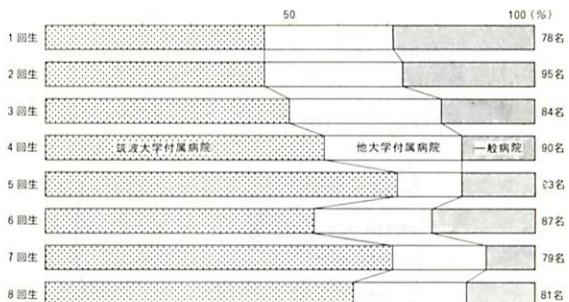


図 7

6年間のレジデントを終えたあと、どうなるのかが筑波大生にとって最も関心のある点であるが、なにぶん2回分の卒業生しか出ておらず。一般病院に出た先生が今後他大学入局を余儀なくされているのか、大学での研究に戻るのか、あるいはまた、医療第一線で活躍されていくのか将来の見通しは立て難い。しかし、いずれにせよ、筑波で6年間レジデントをやったあとでも、失職することはないようであるから、過去のデータや現在の傾向にまどわされることなく自らの信ずる道を歩みたいものである。

卒業生現在の専門分野

金澤 伸郎 (10回生)

ここでは、第一回卒業生から第八回卒業生迄の専門分野を、全員(759名)と女性のみ(141名)とに分け、桐医会名簿に掲載されている専門に基づいて円グラフにした。(図8、図9)

ここで外科の中には、循環器外科、消化器外科、呼吸器外科、形成外科、代謝外科、小児外科が含まれている。又、大学院生も各自の専門別に分け、各々の科、社会医学、基礎医学に入れた。

尚、今回は精神衛生に関しては社会医学に入れかえたが、今後検討の余地があると思われる。

全体のグラフを見てみると、内科が28.7%、外科が20.3%と抜きん出でおり、この両者だけで全体の50%を占めている。これは大学付属病院に勤務している卒業生が多いことから予想されていた事ではあるが、両者のほぼ抜けた専攻の多さには目を見張るものがある。

四倍近く離された第三位には小児科が入っており、これに接近した第四位に整形外科、それに伯仲して第五位に精神科がある。先に言及した通りにこの中には精神衛生関係の卒業生は含んでいないが、これを加えれば、整形外科に匹敵する数値になりそうである。この背景には、最近問題にされてきた『現代人の心の病』が挙げられよ

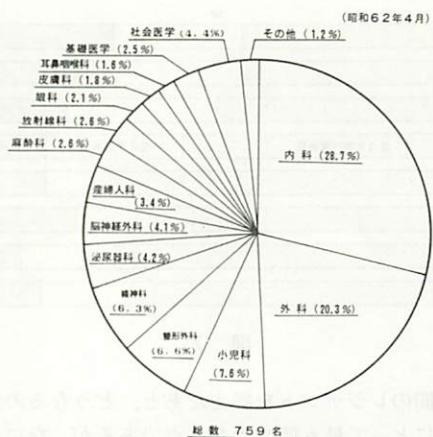


図8 卒業生の現在の専門分野

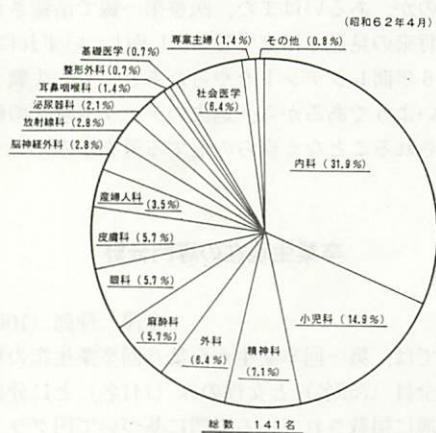


図9 卒業生女子の現在の専門分野

う。

「働き蜂」という有難くない異名を海外から頂戴し、それを払拭するのに懸命になっている反面、業績中心、効率主義、企業優先の原理の侵襲せから、中間管理職の精神疾患が増加している現在の側面を鋭く捕らえている様に思われる。精神衛生をも含めた精神科医の増加は今後の趨勢かも知れない。

その他の科に関しては、大体、各年度4名から1名が入っており、似た様な数値を示している。

参考までに昭和六十二年「国民衛生の動向」から、日本全国の医療施設従事医師延数に対する各診療科の割合を基にした表を示す。(表2) これは昭和五十九年末の数値であり、専門については今回と同様に分類した物である。尚、延数である為、各科の合計は100%を越してしまう。延数の上、年齢分布に上限が無いので余り比較の対象とならないが、全国の様子を知る上では参考となる。

表2

専門分野	総数(173,452人)	女性のみ(17,676人)
内 科	① 69.5%	① 53.6%
小 児 科	③ 20.2%	② 30.0%
精 神 科	⑥ 7.6%	⑤ 8.0%
外 科	② 20.4%	⑧ 3.5%
整 形 外 科	④ 9.5%	⑪ 1.5%
脳 神 経 外 科	⑬ 2.3%	⑬ 0.3%
産 婦 人 科	⑤ 9.0%	④ 9.2%
眼 科	⑪ 4.6%	③ 15.7%
耳 鼻 咽 喉 科	⑩ 5.4%	⑦ 7.4%
皮 膚 科	⑦ 7.2%	⑥ 7.9%
泌 尿 器 科	⑧ 7.1%	⑫ 1.2%
放 射 線 科	⑨ 6.8%	⑩ 3.0%
麻 醉 科	⑫ 2.6%	⑨ 3.1%
そ の 他	5.5%	2.1%

これによると、内科が断然多く、次いで三倍以上離されて外科、それに並んで小児科が続いている。上位三科に関しては割合は異なるにしても本学でも同じであるが、精神科は整形外科、産婦人科に次いで第六位である。

次に女性のみのグラフであるが、大方の予想通り内科が31.9%と他を大きく引き離しての一一位。二位は14.9%の小児科、全体での傾向と同様に三位に精神科が7.1%で入って来ている。第四位に外科が入り、以後、麻酔科、眼科、皮膚科が5.7%と同数で第五位タイで、第八位に産婦人科が入っている。眼科と産婦人科が予想以上に少なかったのは意外な結果であった。

女性についても「国民衛生の動向」からの表を見てみると、内科(53.6%)、小児科(30.0%)、眼科(15.7%)、産婦人科(9.2%)と等比級数的に並んでおり、次いで第五位に精神科(8.0%)、第六位に皮膚科(7.9%)が入り、外科は耳鼻咽喉科について第八位である。

まとめてみると、

- ・全体、女性のみ共、一番専攻されているのが内科である。

- ・全体、女性のみ共、小児科は上位に入っているが、外科に関しては全体では20%の二位に対して、女性のみでは6%の四位である。

- ・全体では、大学付属病院に勤務している卒業生が多い為、外科の割合が高く、内科に迫る値を示している。

- ・全体、女性のみ共、精神科の台頭が目立つ。

大体、以上のような事が挙げられる。

今後の展開としては、他大学に於ける専門分野別の分布との比較をしてみるのも面白いと思われる。可能であれば、大体同世代の卒業生を選び、又、伝統のある大学と、本学のような新設大学との比較を行ってみるのも興味深い。他には、各年度毎の専門別の割合を全国レベルで見てみるのも良いだろう。

卒業年度別の専門分野

品川 篤司 (12回生)

ここでは卒業生の現在の専門分野について述べたいと思う。集計に当っては1987年度版桐医会会員名簿を参考にした(表3)。あくまでも集計時現在の専門分野を表したものであることをおことわりしておく。

表の各回生欄は2段構成になっているが上段は総合すなわち男女あわせたものを下段は女子のみをそれぞれ分類した。

I. 総合 (上段)

表を縦に(科別)流れを追ってみると内科・外科が大きな割合を占めている。4回生までは(内科+外科)で50%を超えていたものの5回生を過ぎると50%を割っている。これは内科・外科の双方共がわずかづつ減少したことによる。それに対し小児科は多少の変動はあるものの、それぞれ全体に対する比率は安定してきているように思われる。しかし社会医学に関していえば5回生で急に大きく比率をまし、それ以降その程度の比率で落ちついているのが印象的である。基礎医学は近年減少傾向が見られる。

表を横に(回生別)見ておもしろいのが1回生と7回生であろう。1回生では各科へのちらばり方がおしなべて同程度である。これは本学最初の卒業生であることが関係あるのかもしれない。ところが7回生では2~6回生までとは大きく異なった、ちらばり方を示している。それはあたかも1回生の分布に似ているが特徴的なのは内科・外科・小児科・精神科・社会医学がほぼ同程度の割合を占めていることである。7回生は一つの転換期だったのであろうか?しかし後で述べる女子の推移や、

表3 卒業生の現在の専門分野 (昭和62年4月)

	内	外	小	精	整	泌	脳	産	麻	放	眼	皮	耳	基	社	他	計
1	34	11	4	3	8	6	6	4	2	1	2	0	1	0	1	1	84
	2	1	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	10
2	29	25	3	8	9	5	4	4	2	4	3	2	1	3	0	1	103
	3	2	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	12
3	20	25	12	3	3	4	3	5	3	2	2	0	3	3	4	2	94
	5	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	2	12
4	30	24	7	8	4	4	1	3	2	4	2	1	3	3	1	0	97
	5	0	2	0	0	1	0	1	2	1	1	1	0	0	0	0	14
5	30	16	7	7	7	7	6	1	2	1	2	3	2	5	6	0	102
	6	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	13
6	30	19	4	7	8	2	1	3	7	3	1	1	1	4	6	1	98
	8	2	4	3	0	1	0	1	3	1	1	1	0	0	1	0	26
7	22	15	14	9	5	2	4	4	1	4	2	2	0	0	9	0	93
	4	1	6	3	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	5	1	24
8	23	19	7	6	6	2	6	2	1	1	2	5	1	1	3	3	88
	12	3	5	1	0	0	2	1	1	0	1	3	0	0	1	0	30
計	218	154	58	51	50	32	31	26	20	20	16	14	12	19	30	8	759
	45	9	21	10	1	3	4	5	8	4	8	8	2	1	9	3	141

上段: 全体 下段: 女子

8回生で2~6回生と似たちらばり方を示しているらしい [注: 7回生以降の卒業生は、まだ8回生だけであるのでなんともいえないが] 事を考慮するとその考えは早計かもしれない。また6回生で麻醉科が大きな割合を占めていることも目につく。

II. 女子 (下段)

年々女子の占める割合は増加傾向にある。その科別推移を見てみよう。女子では内科の占める割合が高いが、6回生、7回生で少し減少した。その代わり小児科は次第に増加し7回生で1つのピークがみられた。外科は少なく特に整形外科は全卒業生のうちわずか1人(5回生)しかいない。眼科、皮フ科、麻醉科、精神科などはほぼ一定の割合を占め続けている。また基礎医学には1人(2回生)しか進んでいない。

さて回生別にみてみると、7回生がおもしろい。小児科と社会医学に大きいかたより内科は大きく減少している。この女子の動きは男女総合してみた時の7回生での変動に大きく影響を与えていると考えができる。また3回生に専業主婦(2人)が見られているのも印象的である。女子では学年ごとの人数が少ないために割合で論じることは危険であろう。しかし、1回生ではどの科にも、ほぼ均等に分布していたものが、年々男女総合での分布に近づき落ちついているように思われる。

年々全体として各科共に一定の割合に近づいてきていくとはいえたまだ歴史は浅く過渡期であると言えるのかもしれない。されに他大学卒業生の推移なども考慮すれば、細かい分析も可能となろう。

なお、この統計をまとめるに当たっては下記の多くの方々のご協力を頂いた。ここに感謝の意を表したい。

山口 高史 (1)	岩崎 秀生 (1)
海老原次男 (2)	岩崎まり子 (1)
竹村 博之 (5)	細井美恵子 (7)
堀 孝文 (7)	佐藤 直昭 (8)
柴田 智行 (8)	杉田 和子 (8)
鈴木 雅美 (8)	白岩 浩志 (8)
飯沼佐和子 (9)	三橋 彰一 (9)
大谷 浩司 (10)	高橋 伸二 (11)
西村 秋生 (11)	毛利 健 (11)
田中 歩 (13)	中馬越清隆 (13)
名田 裕美 (13)	松崎 弘志 (13)
井上 貴昭 (14)	

() 内は回生

桐医会東京部会開かる！

後半門事の際の事務室

世話人 富俊明・桑野慎一郎

卒業生の皆さん、今日も第一線でご活躍のことと思います。既に8期生まで卒業し、約800名の同窓生が、主に関東を中心に活動されていることでしょう。私たちは、医学専門学群東京都部会という名称で、昭和57年より、東京にて同窓会活動を行っています。参加する方々は、主に、大学から離れて、一般病院や厚生省、保険所などに勤務している方で、その他、大学からのローテーションで都内の病院に来ている方や、他大学の医局、研究室に属する方などにも参加していただいている。筑波を卒業してすぐに東京へ出られる方は、みなさんそうですが、強い息ごみで、全く大学と関係のない世界へ飛びこんで行っていることだと思います。ただ、がむしゃらに動き回って、そこでスタッフとなり、ふと気がついた時に、回りは他大学の出身者ばかり、たまには、同窓生と共に話題で話してみたいと思われるかもしれません。

また、将来、10年後、20年後にお互いの将来について話

したり、毎年卒業して新たに入ってくる後輩たちのためのよい職場環境を作ることについて…等、大それた目的は全然なく、東京にいるみんなの語らいの場として活用して頂きたいと思います。

62年度は10月24日に椿山荘で阿南学長を迎えて開催されました。人数は少なかったのですが、1期から8期までそろい、お互いの職場のことや、なつかしい筑波のことなどを語り合いました。それぞれの職場で活発に活動されている方が多いせいか、年を追うごとに徐々に参加者が減ってきていますが、今後は、再び人数も盛り返すことと思います。いつも招待状を発送していますが、その他、地方にいらっしゃる方も、こういう機会に上京して、御参加下さい。今後は、学会シーズンをはずして開催する予定です。次回からもぜひ、よろしくお願ひします。



「つくばねっと」を知っていますか？

つくばねっとシステム

臨床医学系 近藤陽一 (Konkon)

学生 長瀬啓介 (Nagase)

大学からはなれた病院で頑張っている医学専門学群の卒業生の人たち、毎日の診療で疑問に感じた事や同僚に聞いてもわからないことがあった時はどうしますか。

週に1回大学に研究日をもらって大学に来ている人なら、その時に先輩に質問すればいいでしょうが、毎日せっせと働かされている場合にはなかなかそうもいきません。専門書や雑誌を読めばなんとかなりますが、知りたいことや分からぬ事にすぐそばにいるエキスパートが直接答えてくれる状況は大学や大きな病院以外ではなかなか難しいようです。もちろん知りあいの先生に直接電話して聞けばいいのですが、ご存じの様に筑波大学病院の先生を外から電話に呼びだすのは至難の技です。それに、よその科の先生に電話するのはちょっと気がひけるでしょう。

今年の夏から筑波大学の学群棟に、卒業生や学生のために「つくばねっと」というパソコン通信ホストが設置されました。いろいろな質問とそれに対する回答やきらくなおしゃべりで、一日中電話が鳴りっぱなしです。PC-VAN や NIFTY-SERVE みたいなものですが、もちろん使用料はとりませんし、申込はオンラインで、その場でパスワードが貰えます。ID番号ではなくニックネームでユーザーを区別していますので、変な名前ではなく、なるべく本名で登録して下さい。

現在は臨床医学系の先生や筑波近辺のパソコンマニアが90人以上参加しています。コンピュータのソフト開発に携わっているプロフェッショナルの人も結構います。パソコンを持っている人はぜひアクセスして下さい。タ

方から深夜にかけてはお話し中のことが多いですが…

「つくばねっと」

電話番号 0298-53-3279

運用時間 24時間

1200ポー／300ポー

漢字シフト JIS

データ8ビット、パリティなし、ストップビット1、XON

(PC-VAN など一般的なBBSと同じです)

漢字が使えるパソコンや通信機能をもったハンディワープロだったらなんでもつながりますが、モデムはオムロン1200E、PC98の通信ソフトは技術評論社のCCT98がお勧めです。PC8801だったら通信ソフトはキャリーラボのJET-TERMINALが絶対です (SR,MR以外の機種では使えませんとパッケージに書いてあるのは嘘で、初代のPC8801でも大丈夫です)。モデムと通信ソフトあわせて3万円でパソコン通信が出来るようになります。

（編集部注）この原稿は、「つくばねっと」を使って、本会報の編集責任者である湯沢賢治 (Yuzawa) 宛に送られてきたものであり、原稿用紙に書かれたものではありません。論文原稿なども近い将来にはこのようなコンピューター通信で送るようになることでしょう。

リクルートに関するアンケートの結果報告

先日、第三回生以上を対象に行いましたアンケートの結果を御報告致します。
総計38通のご返事を頂きました。御協力有難うございました。

アンケート

1. 貴方は、今の職場で満足していますか?
 1. 大変満足している。 10.5%
 2. まあ満足している。 68.4%
 3. やや不満である。 15.8%
 4. 大変不満である。 5.3%
 5. どちらでもない。 0.0%
2. 貴方は、今の職場で将来の不安を感じる事がありますか?
 1. 良くある。 18.4%
 2. 時にある。 63.2%
 3. あまり無い。 18.4%
 4. 全く無い。 0.0%
3. 貴方は、将来、以下のどれを希望していますか?
 1. 開業医。 10.5%
 2. 勤務医（総合病院）。 65.8%
 3. 勤務医（診療所）。 2.6%
 4. 大学病院（筑波大）。 21.1%
 5. 大学病院（筑波大以外）。 10.5%
 6. 研究者（基礎、社会医学）。 5.3%
 7. 公務員（国家、地方）。 0.0%
4. 貴方は、現在3の項で挙げたどの職業に就いていますか?
 1. 開業医。 7.9%
 2. 勤務医（総合病院）。 34.2%
 3. 勤務医（診療所）。 0.0%
 4. 大学病院（筑波大）。 15.8%
 5. 大学病院（筑波大以外）。 13.2%
 6. 研究者（基礎、社会医学、大学院）。 13.2%
 7. 公務員（国家、地方）。 10.5%
5. 貴方は、現在、筑波大学とどの様な形式の関係をもっていますか?
 - ・筑波大学医学系教官
 - ・筑波大学DC医学研究科
 - ・クラブ活動、OB会に顔を出す。
 - ・研究生として、定期的に抄読会に出席している。
 - ・“関連病院”に勤務している。
 - ・筑波大学附属病院研修医
 - ・定期的に顔を出す。（週一日）

- ・教授と個人的関係。
6. 貴方は、将来、筑波大学と何等かの関係を持ちたいと思いますか?
 1. 大変思う。 19
 2. 時に思う。 11
 3. あまり思わない。 7
 4. 全く思わない。 1
- 6で「思う」と答えた方の理由や、どの様な形式での関係か?
 - ・医師は一人ではやっていられない。症例の相談や転院等について大学の存在は大きい。
 - ・研究面、人事面での交流。
 - ・臨床に関わる上で必要だから。
 - ・母校としていろいろ利用して行きたい。（情報、医療、パート等）
 - ・筑波の恵まれた設備と、周辺の研究所の最先端の技術を利用したい。
 - ・関連病院での勤務。
 - ・患者の紹介、医師の派遣を通して。
 - ・重篤な患者を送る先にして、又、最新の医学情報を得る為のソースとして。
 - ・難しい症例、稀な症例について相談相手として。
 - ・症例検討会、カンファレンス、抄読会など。
 - ・大学内の外科懇談会に演題を出したい。
 - ・師弟関係の継続。
 - ・筑波大学医学系教官として。
 - ・博士号中修得の相談相手として。
 - ・医局が無いので、臨床、研究等、自由に出入り出来るようにする。
7. 貴方は、同窓会である桐医会が、リクルート情報提供の場となる必要があると思いますか?
 1. はい 71.1%
 2. いいえ 23.7%

賛成意見

- ・現在はともかく、将来医者が溢れて來るのは明らかなので。
- ・情報交換の場としては適当な会である。
- ・社会では、実力だけで良いところに就職できない。又、自分の才能を伸ばすには多くのチャンスを知ることが必要である。

- ・筑波大学の各診療グループ、或は、他大学の医局に属する者以外にとっては、就職を決定する際の確かな情報を提供すべきである。
- ・もっと現実的に年収、子供の教育、住宅、将来のポスト、医療事故等、研修以外の事も載せて欲しい。
- ・関連病院の開拓や設立を行う力があれば、と思う。
- ・病院、リクルートについての客観的な情報が欲しい。
- ・多くの科にまたがる協力の提供の場として。
- ・少なくとも5年以上勤務出来る所を提供すべきである。
- ・本来は同窓会の仕事ではないと思うが、筑波大学のように医局制度をとらない場合には、それもやむを得ないのでないのではないかと思う。
- ・リクルート情報のみならず、開業情報、人事情報、研究情報、名医紹介等、あらゆる情報提供の場となるべきである。それには、パーソナルコンピュータ通信ネットワークの設立が望ましい。
- ・単なる職業紹介だけでなく、大学を中心とした地域医療全体を考え、効率的な人員配置を行う必要がある。
- ・必要あるとは思うが、実際は、各科教室毎に情報を握ることになるのではないか？

反対意見

- ・情報提供の場となることは望ましいが、必ずしも必要ではないと思う。

- ・桐医会では無力ではないかと思う。
- ・同窓会がそこまで親切にする必要もないと思う。
- ・専門分野において細心のリクルートは困難ではないかと思う。
- ・必要とは思わないが、あれば便利かも知れない。

8. 貴方は、現在、博士号を修得していますか？

- | | |
|--------|-------|
| 1. はい | 21.1% |
| 2. いいえ | 78.9% |

9. 8で「はい」と答えた方は、以下のどれで修得したかを選んで下さい。

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 大学院（筑波大） | 62.5% |
| 2. 大学院（筑波大以外）（東北大学） | 12.5% |
| 3. 博士論文（筑波大） | 25.0% |
| 4. 博士論文（筑波大以外） | 0.0% |

10. 8で「いいえ」と答えた方は、以下の質間に御答え下さい。

貴方は、博士号を修得したいと思いますか？

- | | |
|--------|-------|
| 1. はい | 86.7% |
| 2. いいえ | 13.3% |

「はい」と答えた方は、8の項のどれで修得したいかを選んで下さい。

延 数

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 大学院（筑波） | 3.8% |
| 2. 大学院（筑波大外） | 7.7% |
| 3. 博士論文（筑波大） | 61.5% |
| 4. 博士論文（筑波大以外） | 42.3% |

62年度東医体結果報告

バスケットボール

(男) Best 8

一回戦 筑波 80-57 旭川
筑波 92-42 聖マ
筑波 42-63 東北

(女)

一回戦 筑波 - 東邦

200m 個人メドレー	1位	中村亮介	2' 26" 69(新)
400m 自由形	4位	石川欽也	5' 14" 16
100m ハーフ	6位	金岡恒治	1' 01" 64
100m 平泳ぎ	6位	曾根博仁	1' 17" 92
800m リレー	3位		9' 35" 17

ハンドボール

準優勝

予選リーグ 2勝0敗

決勝リーグ 筑波 27-18 北大
筑波 20-28 自治医

バレーボール

(男) 優勝

予選リーグ 3勝0敗

筑波 2-0 山梨
筑波 2-0 札医
筑波 2-0 東医

決勝リーグ

1. 筑波 2-0 山形
2. 筑波 2-0 新潟
準 筑波 2-0 北大
決 筑波 2-0 自治医

(女) 優勝

予選リーグ 3勝0敗

筑波 2-0 順天
筑波 2-0 聖マ
筑波 2-0 帝京

決勝リーグ

準々筑波 2-0 信州
準 筑波 2-0 東女子医
決 筑波 2-1 山形

水泳

(男) 総合4位

800m 自由形	4位	石川欽也	10' 55" 30
200m ハーフ	2位	中村亮介	2' 12" 65
50m ハーフ	1位	金岡恒治	26" 68
200m バタフライ	6位	加納雅仁	2' 48" 17
200m リレー	2位		1' 49" 88
400m メドレーリレー	4位		4' 46" 88

200m 個人メドレー	1位	中村亮介	2' 26" 69(新)
400m 自由形	4位	石川欽也	5' 14" 16
100m ハーフ	6位	金岡恒治	1' 01" 64
100m 平泳ぎ	6位	曾根博仁	1' 17" 92
800m リレー	3位		9' 35" 17
(女)			
200m メドレーリレー	4位		2' 51" 47

剣道

団体戦 Best 8

準硬式野球

一回戦 筑波 7-0 日大 (7回コールド)
二回戦 筑波 3-14 群馬 (延長12回)

卓球

(男)

予選リーグ 筑波 2勝2敗

決勝トーナメント

筑波 1-4 山形

(女)

予選リーグ 筑波 2勝1敗

決勝トーナメント

筑波 0-3 日大

硬式庭球

総合7位

(男)

一回戦 筑波 4-3 山形

二回戦 筑波 3-4 群馬

(女)

一回戦 筑波 1-2 東邦

陸上

個人

男子400m	2位	近藤 司	50" 8
女子100m	2位	山本陽美	13" 5
女子100m	5位	山田さつき	14" 0
女子1500m	4位	野間美緒	5' 48" 8
女子4×100mR	1位	中嶋, 木下, 山田, 山本	
女子走幅跳	1位	木下裕子	4m 91
男子200m	3位	近藤 司	23" 3

男子400mH 6位 蒲原一之 58"1
 男子4×400mR 3位 3'30"6
 女子200m 2位 山本陽美 28"1(大会新)
 タ 3位 木下裕子 28"8
 女子砲丸投 1位 山本陽美 8m74
 タ 4位 木下裕子 7m98
 男子3000m 1位 鎌田浩史 10'05"9

総合 男子 7位
女子 優勝

軟式庭球
 (男子)
 予選リーグ 4位
 筑波 2勝3敗
 (女子)

予選リーグ 3勝3敗
 女子2位 後衛 山口喜久代 前衛 松原香子
サッカー
 一回戦 筑波 1-1 北大
 PK 5-4
 二回戦 筑波 2-2 日医
 PK 3-5

バドミントン
 (男)
 一回戦 筑波 3-1 北里
 二回戦 筑波 0-3 群馬
 (女)
 一回戦 筑波 1-2 慶應

キャンパス・スケッチ

10月8, 9, 10日に学園祭と同時に開催された基臨社祭での1コマです。今年は珍しく晴天に恵まれ、楽しい3日間でした。ただし、客足の方は、「雨だったからね」という例年の理由が使えませんでしたが……。



「基臨社祭へどうぞ」
来年あたり、遊びにいらっしゃいませんか?
OBの先生方も。



基臨社祭の良心“アナトアルモニコ”



女の子と見るとすぐ説明したがるんだからア



今年も楽しいイベントが盛りだくさんでした。

スマイリング・マラウイ 3

—私のマラウイ在住日記から— 雨

青島多津子 (M 1)

しんと静まった夜半に、私は、遠くから走ってくる雨を聞く。それはまったく突然に、ザザー、と叩きつけるような雨足になって夜を襲う。私は裏戸を閉めにゆく。そして満天の星空に気付く。木々の葉が風に洗われて、スコールのような音をたてて擦れあっていた。

雨は、未だこの丘まで到達してはいなかった。それでも私たちは、心が優しくなるのだった。遠くからわたってくる風に、私たちは確かに、やがて訪れる雨のにおいをかいだ。雨はその現実の訪れの遙か前から、輝く太陽に疲れた灰褐色の大地と人々を、潤し始めていた。

11月。雨が近い。

『いい天気ですね。』という挨拶はこの国にはなかった。来る日も来る日も、同じ貌をした太陽が同じ丘から昇る。一つの日はそのまま別の日につながり、一つの年はそのまま別の年につながった。ネコは一年中盛りだつたし、たいていの木には定まった形の年輪は見えなかつた。ラジオの天気予報がふるっていた。『午前中は暑いでしょう。午後はもっと暑くなるでしょう。おそらく気温はやや下がるでしょう。概ね昨日と同じ天気でしょう。』そしてもっとふるっているのは、忠実にこの予報に従う天気だった。

それでも11月になると、人々の話題は雨に傾いていった。ムズズの雨は他の地域より一ヵ月は早く始まる。もうリビングストニアでは降ったらしいよ。ンタリレでも降ったようだよ。人々は恋人を待つように雨を待ち焦がれた。

今年の雨は例年より遅い。村の精霊様たちがお怒りなんだよ、薪を売りに来たおじいさんが声をひそめて私に言った。困ったことだ、村に誰か、よこしまな考えの奴等が入るらしい。それで精霊様たちが雨を止めていらっしゃるのだ。チンガレではね、おじいさんは一層声をひそめて話してくれた。とうとう殺人事件までおきたらしいよ。困ったことだ、南の連中は。おじいさんはさも困ったように首をふった。

その事件は、新聞にものった。ここ北部マラウイの人々が雨と精霊を結びつけて考えるのに対し、南部マラウイ

では、雨が降らないのはウイッチ（魔術）のしわざだと信じている。誰かに怨みをもっている人がウイッチをかけて雨を止め、みんなを苦しめているのだ。旧首都ゾンバ近くのチンガレの村では、あらゆる雨乞いが失敗した後に、人々はすがるようにこの昔ながらの言い伝えにたどりついた。村長は長老たちを呼び集め、何度も何度も会議がもたらされた。そして、村に住む数人のならず者たちこそ、この日照りの原因だと決定された。6人の男たちはすぐにも捕らえられ、村人全員の前に引き出された。いつまでたっても非を認めない男たちに、人々は苛々した。メイズの植え付けが大幅に後れていたのだ。それは自動的に、飢えへの恐怖を人々の心に呼びおこした。興奮した人々は、縛り上げた男たちのまわりに木や枯れ草をつみあげた。火が放たれた。炎と煙りによる拷問は数時間続き、男たちは全員死んだ。数日後、この村長と長老の一人が、殺人罪に問われて警察につかまつた。しかし、チンガレには、実に、雨が降り始めた。

新聞に出るくらいだから、めったにない事件だったのに違いない。この話を、マラウイの未開さ、と私はとてほしくない。同じようなことは日本でだって、いくらでも行われているのではないか。

2年生の教室で授業をしていた私は、突然自動車工場に耳せんなしで放りこまれたような騒音に、チョークをとりおとした。最初の雨が、とうとうやってきたのだ。私たちは授業を中断して窓際に寄った。空が破れたような豪雨に、通路はみるみるうちに川になった。久し振りの雨の感触に、私たちは興奮した。

天地創造時代もかくあったろうと思われる雨は、三日間降りつづいた。私たちはもうしゃがむかなかった。トタン屋根で天井のない教室は、いつも工場の中にいるように騒がしかった。私は声をはりあげて叫んだ。

『聞こえますかー。』

『聞こえまーす。』

生徒の答えに満足して授業を始めた私は、この質問が実は意味をなさないことに気付いていた。聞こえる人は聞こえると応えるし、聞こえない人は何も答えない、どの道生徒の返事は『聞こえます』だ。でも、聞こえませんと言われても、どうすることが出来よう。私はこの質問の矛盾に気付かないふりをして、黒板に問題を書いた。

どの教師も、二日目が終わる頃には声がかすれていた。

この年の雨期は、ムズズとンカタペイを集中的に襲った。雨はまいたばかりのメイズの畑を洗い流し、ンカタペイの民家を押し流した。12月下旬に、ブランタイヤへおりる最後の急行バスがムズズを出た。道路は至るところで寸断され、北部はこれから来年の7月末まで閉ざされる。食糧が足りない。物資が足りない。私は塩の無い

日々と固いハイビスカスの歯ざわりを思い出してぞっとした。(電子) P01

雨が明けた日の空は、すみずみまでのチリが洗い流され、ちょうどピッカリコニカの写真のように、どこもかしこもピントがあってべったり鮮やかだ。

(つづく)

Persantin

血液からのアプローチ



抗血小板薬 ペルサンチン[®]錠

効能・効果

1. 狹心症、冠硬化症(慢性虚血性心疾患、無症候性虚血性心疾患、動脈硬化性心疾患)、心筋梗塞(急性期を除く)、うっ血性心不全
2. ワーファリンとの併用による心臓弁置換術後の血栓・塞栓の抑制
3. つぎの疾患における尿蛋白減少:ステロイドに抵抗性を示すネフローゼ症候群

*用法・用量、使用上の注意等については添付文書をご覧下さい。



製造
日本ボーリンガーアングルハイム株式会社
兵庫県川西市矢間字高田103番地



販売
田辺製薬株式会社
大阪市東区道修町3丁目21番地

1987年度版 桐医会名簿の訂正

先日発行致しました1987年度版桐医会名簿に於きまして、御訂正、及び御変更がありましたので、ここに御掲載致します。

(敬称略)

名誉会員

東篠 静夫→東條 静夫

正会員

第一回生（昭和55年3月卒業）

飯野 知足(現) 〒311-41 茨城県水戸市赤塚1-2067-3
コーキビル501号

TEL 0292-52-9170

田中 民弥(現) 〒135 東京都江東区高橋5-1-403
(勤) 城東病院 外科
〒136 江東区亀戸9-6-21

第二回生（昭和56年3月卒業）

菅谷 公男(現) 〒010 秋田県秋田市広面字土手下88
TEL 0188-31-2107

(勤) 秋田大学医学部附属病院 泌尿器科
〒010 秋田県秋田市本道1-1-1
TEL 0188-34-1111

中嶋 和美(現) 〒160 東京都新宿区西新宿4-41-10
ホーレストマンション1104

中村日出子(現) 〒300 茨城県土浦市天川2-3-7
TEL 0298-22-3264

西原 穀(勤) TEL 075-751-4013

松下昌之助(現) 〒141 東京都品川区上大崎3-13-21
ヴェラハイツ目黒ガーデン511号
P. 110 (院外、日赤医療センター)
(住) 〒141 東京都品川区上大崎3-13-21
ヴェラハイツ目黒ガーデン511号
TEL 03-444-7259

村田 嘉彦(現) 〒236 神奈川県横浜市金沢区寺前
2-5-20 小沢荘2F

第三回生（昭和57年3月卒業）

大久保一郎(現) Apt. K-45, Radwyn Apartments, 275
Bryn Mawr Avenue Bryn Mawr, PA
19010, U.S.A
(勤) Hospital of the University of Pennsylvania

3400 Spruce Street, Philadelphia, PA
19104-4283, U.S.A

大久保理恵(現) Apt. K-45, Radwyn Apartments, 275
Bryn Mawr Avenue Bryn Mawr, PA
19010, U.S.A

柏木万寿男(勤) 東京大学医学部附属病院 第一内科
〒113 東京都文京区本郷7-3-1
TEL 03-815-5411

加藤 昌明(勤) 国立精神神経センター武蔵病院 精神科
〒187 東京都小平市小川

金子 正剛(現) 〒300-12 茨城県牛久市牛久町280番地
TEL 0298-73-7466

(勤) 筑波大学附属病院

島倉 秀也(勤) 筑波大学附属病院 内科

島居 徹(現) 〒317 茨城県日立市会瀬町4-5-3
宏南コーポ205

TEL 0294-37-0807

(勤) 日立総合病院 泌尿器科

〒317 茨城県日立市城南町2-1-1

TEL 0294-23-1111

鈴木 利人(現) 〒305 茨城県つくば市並木2-126-306
(勤) 筑波大学臨床医学系 講師 精神医学

TEL 0298-53-3183

助川 泉(現) 〒160 東京都新宿区片町6
合羽ビル301号

桃田 敬子(現) 〒652 兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-2-
(田中) 20-405

松本 政雄(現) 〒150 東京都渋谷区神宮前2-31-11-
204
TEL 03-470-7980

宮川 創平(現) 〒311-12 茨城県那珂湊市相科ね町
15-10

TEL 0292-63-4644

(勤) 那珂湊中央病院 産婦人科

〒311-12 茨城県伊那那珂湊市幸町
16-1

TEL 0292-63-0651

P. 107 (院外、那珂湊中央病院)

(住) 〒311-12 茨城県那珂湊市相科ね町

15-10
TEL 0292-63-4644

(勤) 淀川キリスト教病院ホスピス

〒533 大阪府大阪市東淀川区淡路9-26
TEL 06-322-2250

第四回生（昭和58年3月卒業）

金子 昌司（現） 〒116 東京都荒川区西尾久4-21-6
トップ田端103号
P. 108
(住) 〒116 東京都荒川区西尾久4-21-6
トップ田端103号

鈴木 規之（現） 〒143 東京都大田区大森本町1-8-12
大森海岸パークハウスE-206号
TEL 03-767-1328

高椋 清（勤） TEL 0977-24-5301

村井 正（現） 〒305 茨城県つくば市並木4-420-404
TEL 0298-52-5856
P. 131
(住) 〒305 茨城県つくば市並木4-420-404
TEL 0298-52-5856

平塚 和人（現） 〒223 神奈川県横浜市港北区日吉3-15-20 ベルビュ一日吉103号

福田 祐典（勤） 厚生省保健医療局国立病院課
TEL 03-503-1711 内線 2645

丸山 嘉一（現） 〒177 東京都練馬区東大泉6-16-3

宮川 真一（勤） TEL 0989-68-2133

湯浅 洋司（現） 〒965 福島県会津若松市白虎町148-1
ウナインハイツ106号
P. 118
(住) 〒965 福島県会津若松市白虎町148-1
ウナインハイツ106号

第五回生（昭和59年3月卒業）

曾和 健誠（現） 〒300-12 茨城県牛久市田宮町5311-169
TEL 0298-72-7150

辻 泰二（現） 〒305 茨城県つくば市春日4-18-8
コーポあらい201号
TEL 0298-51-5195
(勤) 筑波大学附属病院
P. 112
(住) 〒305 茨城県つくば市春日4-18-8
コーポあらい201号
TEL 0298-51-5195

徳重 克年（現） 〒151 東京都渋谷区笹塚1-13-7
ハイツフラワー203

半澤 直美（現） 〒232 神奈川県横浜市南区六ツ川2-142-161-1
TEL 045-713-9786

第七回生（昭和61年3月卒業）

鍋島 雄一（現） 〒312 茨城県勝田市青葉町7-1-402
TEL 0292-75-0014
(勤) 日立製作所 水戸病院 産婦人科
〒312 茨城県勝田市石川町20-1
TEL 0292-72-5111
P. 120 (院外) 日立製作所 水戸病院
(住) 〒312 茨城県勝田市青葉町7-1-402
TEL 0292-75-0014

本部 正樹（現） 〒305 茨城県つくば市天久保2-1-1
非常勤講師等宿舎407号
TEL 0298-52-3632
(勤) 筑波大学附属病院
P. 121
(住) 〒305 茨城県つくば市天久保2-1-1
非常勤講師等宿舎407号
TEL 0298-52-3632

第八回生（昭和62年3月卒業）

青木 孝學（現） 〒390-03 長野県松本市大村394-2
井沢アパート3号
(勤) 信州大学医学部附属病院 第二外科
〒390 長野県松本市旭3-1-1

沖田 渉（現） 〒171 東京都豊島区高松3-8
レオパレス千川102号

坂 佳奈子（現） 〒162 東京都新宿区筑土八幡32
厚和寮117号

山田 治（現） 〒244 神奈川県横浜市飯島町2325-10
TEL 045-894-5573
(勤) 東京大学医学部附属病院 分院 神経科

第六回生（昭和60年3月卒業）

酒井 和夫（現） 〒125 東京都葛飾区鎌倉3-36-10
TEL 03-673-3170
P. 129
(住) 〒125 東京都葛飾区鎌倉3-36-10
TEL 03-673-3170

恒藤 燐（現） 〒533 大阪府大阪市東淀川区東淡路1-2-4
川崎ドリームマンション3-A号
TEL 06-326-7060

人事異動 (1987. 9. 2~1987. 11. 30)

月 日	氏 名	異 動	所 属	職 名	前 職 等(辞職の場合は就職先)
9. 15	木村 雄二	辞 職	基礎医	講 師	横須賀共済病院病理部長
9. 16	工藤 典雄	昇 任	✓	助教授→教 授	
✓	森 尚義	✓	✓	講 師→助教授	
✓	山根 一秀	✓	臨床医	✓ → ✓	
10. 1	西川 俊昭	採 用	✓	講 師	札幌通信病院麻酔科医長
✓	多久和 陽	昇 任	✓	✓	東京大学医学部助手
10. 16	青木 泰子	採 用	✓	✓	東京都老人医療センター医員
11. 1	荒崎 圭介	✓	✓	✓	カリフォルニア大学ディビス校病院レジデント

〈広報部より〉

基礎医学系の工藤典雄先生が、本年9月16日付で教授に昇任なさいました。次号('63年2月末発行予定)で、現在のご心境、会員・学生へのお言葉などを紹介させて頂く予定です。

〈編集後記〉

筑波でも今シーズン最初の雪が降り、寒さが一段と厳しくなってきました。皆さまお変わりありませんか? 何とか今年中に発行しようとやっとの想いですべり込みセーフという感じの今号です。M3の関戸君はじめ、せかされながら原稿を書いて下さった方々、ほんとうにありがとうございました。どうぞ皆様の手に今年中に届きますように。よいお年をお迎え下さい。(有)

連日、厳しい寒さが続いております。お元気でいらっしゃいますでしょうか。12月から始まった病院実習で、外来を経験いたしました。わずか3時間弱なのに、クタクタになってしまいます。昼夜を問わずに働いていらっしゃる先生方の偉大さを改めて感じました。どうか、お体に気をつけて、ますます御活躍下さい。来年が皆様にとって、よいお年でありますように。(Vi)

寒さも本格的となり、いよいよ冬将軍の到来かと思われる今日この頃ですが、こうなってくると恋しくなってくるのがあったかーいお鍋、そして熱燗で一杯、とおっしゃる方も多いのでは? まさに冬ならではの醍醐味ですね。ともあれ皆様、どうぞ健康には十分気をつけてカゼなどひかれぬ様用心下さいませ。(ch)

編集責任者	湯沢 賢治 (3回生)
Staff	有園さおり (M5)
	齊藤 知栄 (M4)
	市川弥生子 (M4)
Sketto	三橋 彰一 (M6)
	大谷 浩司 (M5)
	鴨下 昌晴 (M5)
	毛利 健 (M4)
	関戸 哲利 (M3)

桐医会会報 第21号

発 行 日 1987年12月22日発行

発 行 者 山口 高史 編集 桐医会

〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学医学専門学群学生担当気付

印刷・製本 株式会社 イセブ